書名	白銀ジャック	出版年(西暦)	2010
著者・編者	東野圭吾	出版社	実業之日本社文庫
学部・研究科	理工学研究科	学年	2 年

「ゲレンデの下に爆弾を仕掛けた」と雪不足の心配が心解放されたスキー場関係者に脅迫状が届く。スキー場の利益や評判を気にして警察に通報しない経営者。それを好都合としてスキー場の客を人質に何回も身代金を要求する犯人。しかし、両者には裏の思惑があり、そのきっかけとなったのが一年前にゲレンデで起きた不幸な事故。これらに翻弄されながら進むストーリーは、最後まで伏線と呼べるようなものがなく真相が明らかになるまで楽しめます。また、真相が明らかになった後もう一度読み返すとそれぞれの心情が深くまで読み取れてより楽しめます。文庫本なのでボリュームも少なく、最近本を読んでない人や気分転換に何か読みたい人にもオススメな本です。